平成27年４月26日 執行

茅ヶ崎市議会議員選挙

選挙公報

茅ヶ崎市選挙管理委員会

ひとりひとりが大切にされるまち茅ヶ崎

無所属

早川ひとみ（はやかわ）

近年、急速に進む少子高齢化と核家族化は深刻な課題です。茅ヶ崎市の平成22年の国勢調査では、全世帯中、単身から3人の世帯が約8割を占め、子育て、介護に大きな負担がかかっています。そして、ひとり親世帯や高齢者世帯の貧困問題、生きづらい子どもや若者の姿も浮き彫りになりました。子育ても介護もさらに社会化をすすめ、地域で支え合う仕組みの構築が求められています。

私は、この4年間、市民のひとりとして、共に考え、行動し、当事者や現場の声を反映した制度や施策の提案をしてきました。生まれた時から人生が終わる時まで、ひとりひとりが大切にされるまち茅ヶ崎となるように全力をつくしていきます。

早川ひとみ４年間の実績

①**子育て支援** 認可保育園整備、家庭的保育事業者の支援、家庭児童相談室の充実、幼稚園奨励費の拡充、スクールソーシャルワーカーの設置
②**若者支援** 相談機能の充実、就労支援の充実
③**高齢者施策** 地域包括支援センターの充実、介護者への支援
④**環境問題** 公共施設と給食の放射能検査、雨水タンク設置による水循環の啓発事業、千ノ川の整備、いっ水対策

プロフィール

1963年 静岡県浜松市生まれ 現在 51 歳
1984年 平安女学院短期大学家政科食物コース卒業
中学校教諭２種免許状取得
レンゴー（株）浜松営業所入社
1996年 ガールスカウト静岡 73 団団委員長
2006年 湘南生活クラブ生協
ちがさきデポー運営委員長
2008年 室田小学校室田会副会長
2009年 保育室ぽかぽか管理者
2010年 ＮＰＯ法人ワーコレたんぽぽひろば理事長
2011年 茅ヶ崎市議会議員選挙 当選
環境厚生常任委員会副委員長
議会だより委員会委員
2013年 総務常任委員会委員
松林中学校 PTA 施設委員長
2014年 W.Co のびのび、NPO 法人 W.Co あのん監査

早川ひとみの政策

切れ目のない子育て支援
✦スクールソーシャルワーカーの増員
✦3歳児未満児の待機児童解消
✦一時預かりと多様な保育の充実
✦地域の子育て支援のネットワーク作り
✦若者の生活支援・就労支援の充実
✦地域での学習支援の創出
✦中学校給食の実現

地域で支え合う仕組み作り
✦多世代の居場所づくり
✦介護者支援
✦ボランティア育成の仕組み作り

次代につなぐ自然環境
✦緑の保全
✦公共施設等での雨水利用の促進

実現して初めて政治です。

自由民主党推薦

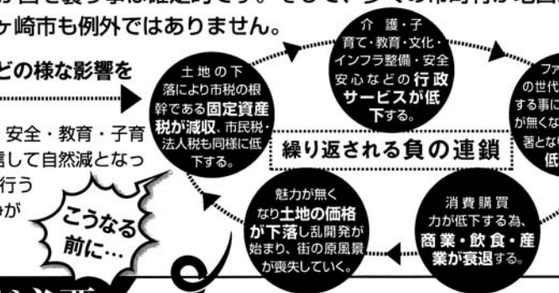
柾木太郎（まさきたろう）

54歳

少子高齢化の先に人口減少期が我が国を襲う事は確定的です。そして、多くの市町村が地図から消えることが予想されています。茅ヶ崎市も例外ではありません。

では、高齢化・人口減少は自治体にどの様な影響を及ぼすのでしょうか？

この様な状況下に各市町村は景観・文化・安全・教育・子育て等、様々な魅力やメリットを全国に発信して自然減となった現役世代（生産適応年齢世代）の確保を行うべく、生き残りを賭けた厳しい都市間競争が展開されると予想されます。



魅力ある街づくりが必要

人々の関心を惹きつけるには……全国レベルの視野で茅ヶ崎市のブランディングやポジショニングを定め、各施策に茅ヶ崎らしい特色を持たせシティーセールスを戦略的に様々な手法を用いて、

『住みたい街NO.1』に

を発信していきます。

地域のアイデンティティーや人・自然・産業・文化を街の資源と定め尊重し、人々が人生やライフスタイルをおおらかに選択でき（ローカルファーストの実践）、子育てのし易い街を目指さす為に、中核市となり国・県の権限を茅ヶ崎市に移管し独自の施策展開を市民・行政・議会が協働して住んでいる事を誇りに思うような街を構築すべきと考えます。

安全・安心の街づくり　スポーツ・文化の推進　子育て　景観保護・自然との共生　行財政の改革

プロフィール：平成７年初当選・現在５期目・第３０代茅ヶ崎市議会議長・元神奈川県議長会会長・元関東議長会理事・元全国議長会評議員・保守系会派湘風クラブ代表

第１期～第５期までの公約達成率 **80%**

活気あふれる安全で安心なまちづくりをめざします！

無所属

岡崎進（おかざきすすむ）

51歳

提案して実現しました

＊市民の命を最優先にした防災対策
①軽可搬ポンプの配置
②標高表示（電柱に）
③ホース格納箱の配置
④自家用給油取扱所の設置
⑤災害時要援護者支援制度活用
⑥全市的な津波避難訓練

＊まちの活性化
①商店街にぎわい創出事業
②桜まつりの提案

＊財政の見直し
①PPSからの電力調達の導入
②ゴミ焼却場余剰売電のPPSによる入札

取り組みます

①「市民の命」を最優先にした防災対策
②活気あふれるまちづくり
③急速な少子高齢化の対応で子どもからお年寄りまで、助け合える地域力の育成を試みます
④子育てしやすい環境づくり
⑤行財政改革、優先順位をはっきりさせます
⑥地方分権において中核市への移行
⑦議会改革（わかりやすい議会をめざします）

子供にツケをまわさない！

実現力で勝負、しっかり頑張ります！

私も推薦します！
衆議院議員　河野太郎

Facebookで岡崎進の検索を！

プロフィール

1964年茅ヶ崎市新栄町生まれ、梅田小・中学校、七里ガ浜高校、法政大学卒業、マル鮮茅ヶ崎市場支配人（丸岡屋）、NPO法人ちがさき学童保育の会初代理事長、菱沼海岸緑自治会長を経て、現在茅ヶ崎市議会議員１期目、総務常任委員会副委員長、広報広聴委員会委員、議会制度検討会委員、総合計画審議会委員、不動産評価委員会委員、茅ケ崎ソフトボール協会副会長、神奈川県学童保育連絡協議会副会長、厳島神社宮世話人。

茅ヶ崎市の東の拠点づくりは今！

赤松町工場跡地におけるまちづくり

3～6%といわれた公園面積は25%に
小和田地区最大の東小和田公園約2500㎡の約2倍の公園・広場を確保できるようになりました。今後コミュニティ用地の活用などが課題となっています。

	敷地面積		概要
公園・空地等	0.64ha	25%	公共移管
道路拡幅	0.07ha	3%	公共移管
商業施設	0.23ha	9%	平屋建て
高齢者施設	0.2ha	8%	4～5階建
集合住宅	1.41ha	55%	高さ31m
赤松緑地	0.1ha		一体整備
面積	2.6ha		

※「赤松町工場跡地におけるまちづくりについて」P14、22を編集

☆地区周辺と調和のとれた形態、意匠、景観上の配慮事項を規定
☆建築物の後退距離を定め、隣接する公共施設からの空間を確保（■■■■■■■ 部分）
☆赤松通りに面する敷地には、沿道の緑化修景を促進など

市議会議員１期

議員ハワイ視察 公費負担NO!!

現在の議会外の主な活動

・茅ヶ崎北陵高校同窓会会長
・応急手当指導員
・小和田地区推進協にて安全安心パトロールと子供たちの見守り活動
・防災リーダー（2007～）
・松林地区体育振興会でファミリーバドミントンクラブ参加

茅ヶ崎北陵高校 新校舎を実現させます。

●プロフィール

昭和40年 茅ヶ崎に生まれる
44年 松若幼稚園入園
47年 松林小学校をへて小和田小学校、松林中学校を卒業
59年 茅ヶ崎北陵高校卒業、京都大学入学
62年 アメリカンフットボール部で全国優勝
63年 全国2連覇、メデイカルコーチ就任
平成 7年 阪神淡路大震災救援ボランティアで半年間被災地支援

●議会での役職・所属

平成23、24年度 総務常任委員会、議会だより編集委員会委員長
平成25～26年度 教育経済常任委員会、広報広聴委員会
平成23～26年度 公共施設整備対策特別委員会

●一般質問

○防災対策について（避難所運営マニュアルほか8回）
○社会教育と学校教育の連携について
（50周年記念誌委員会が考える遺跡と共存する北陵高校のイメージほか4回） など

無所属

新倉しんじ

心豊かに暮らせるまち茅ヶ崎

車イスの僕が、街をつくる！

とよしま太一（たいち）

無所属

僕は生まれてから今日までずっと、茅ヶ崎という街で育ち、過ごしてきました。
僕には身体に障がいがあります。
そのために多くの人たちの支えの中で生きてきましたが、いつもぶつかる壁は、社会的に立場の弱い人の抱える思いが、行政や社会には簡単に届いていかないという現実です。
この街に住む誰もが、これからも住み続けたいと思い、誰にとっても優しい安心・安全な場所だと思えるよう、僕はこの街を変えていきます。

共に生きる社会をめざして

バリアフリーの視点に立った街づくりを進めます。
・公共トイレ・エレベーター・道路・電車やバスの段差や使いにくさを解消し、完全なバリアフリー化をめざす。高齢者や障がい者・ベビーカーや妊娠している女性をはじめ、誰にも優しい街の実現
・どんな人でも差別せず思いやりをもってその人の状況に配慮する「心のバリアフリー」の推進

あなたが主役の「誰もが生き生きと暮らせる街」へ！
・困った経験のある人自身がその経験を活かして困っている人に寄り添い、その人の立場に立った相談支援の充実
・小さな子どもとその親御さんの交流と遊びの場、高齢者・障がい者が集う学びや生きがいづくりの場など、サロンやサークルも含め、様々な活動ができる場の拡充

どんな子どもにも必要な支援を行います。
・増え続けている子どもの貧困や自殺をストップさせる取り組み
・保育園待機児童解消のため、保育の受け皿と必要な人材の確保
・誰もが地域で共に暮らしていくために、ひとりひとりの子どもたちの特性を認めた配慮のあるきめ細やかな「支援教育（神奈川県教育委員会）」の推進

茅ヶ崎の活性化のためのしくみづくりを促進します！
・空き店舗や空き地などを市民が有効に活用できるような情報提供や事業公募のしくみを提案し、市民が主体となる経済活性化の推進

医療と福祉が協力しあう地域ネットワークをつくります。
・高齢者や障がい者の一人暮らしや核家族が増えている現在、自らが望む場所で安心して暮らし続けていけるために必要となる医療・福祉・介護・行政の連携による課題解決への取り組み。たとえば、地域で２４時間必要なときに必要な量だけの福祉の介護と医療が受けられるしくみづくり等

プロフィール

１９７３年、茅ヶ崎市赤羽根生まれの４１歳。現在は本村に在住。小学生の頃より当時市内にできた障がい者の活動拠点「よいしょ作業所」に通う。県立平塚養護学校高等部卒業後、ＦＭ湘南ナパサＤＪ・茅ヶ崎ヤッホー子ども会代表等、多岐にわたる活動をおこなう。市内公立中学校や福祉系短大のゲスト講師を通じて対象年齢に応じた福祉教育の指導を担う。特定非営利活動法人あいむ湘南理事や障がい当事者の立場から障がい者を支援するピアカウンセラー等を歴任。社会福祉法人翔の会と共に福祉を作る活動を継続している。結婚１２年目の愛妻家。

『いのち輝く社会・健康長寿の明るい町』をめざします！

KOMEITO 公明党

白川しず子（しらかわ）

白川しず子は実現しました！

❶65歳以上全員、3千円で肺炎球菌ワクチン予防接種が実現！
❷『小・中学校の耐震化』を推進（平成19年度に完了）！
❸振り込め詐欺などを防ぐ『迷惑電話チェッカー』を無償貸与
❹赤ちゃんが初めて触れる絵本を贈呈する『ブックスタート』を実現
❺防災無線放送の内容を、希望者にメール配信可能に

白川しず子は取り組みます！

《教育》子どもたちがのびのびと学べる環境を目指します。
《防災》お隣近所で助け合えるまちづくりを進めます。
《福祉》誰もが健康長寿を全うできる笑顔あふれるまちづくりを進めます。
《市政》議会改革をさらに進め、開かれた議会を目指します。

推薦します

公明党代表　山口 那津男
公明党参議院議員　佐々木さやか
YOU 勇設計代表・一級建築士　春日 勇
心臓血管外科医師　藤崎 浩行
㈱鈴木商店 代表取締役　鈴木 敏
HIDEKO KAPIO LEHUA フラ スタジオ主宰　掛川 秀子

略歴
昭和24年　茅ヶ崎市生まれ
昭和47年　東京家政大学卒業
平成11年　茅ヶ崎市議会議員初当選（4期）
現在、議会制度検討会座長

ふるさと第一主義・ローカルファースト「わが町」

子どももお年寄りも愛や夢を語れる町へ

●県・企業庁の助成制度を活用し、中学校給食を実現！
●茅ヶ崎駅のホームが危険！ 市が協力して拡幅を！
●8万人の広域避難場所、茅ヶ崎ゴルフ場の緑を守る！
●変えるのは簡単。守り育てるには市民の結束が必要。
●政治塾「わが町」の新発想こそ、これからの地域づくり、持続可能なふるさとを実現する起死回生の好手です。
●茅ヶ崎の昔と今を再発見し、子どもたちに託せる未来図を、皆さんと共に描きます。

茅ヶ崎情報
facebook.com/chigasaki
www.fujikawa.com

中海岸3丁目在住・作曲・編曲家・元茅ヶ崎小学校PTA広報委員長・メディア茅ヶ崎代表・茅ケ崎テレビ代表・（文団協創音部会所属）茅ヶ崎市創作音楽協会副会長・茅ヶ崎の広域避難場所を守る会会員

藤川忠彦（ふじかわただひこ）

無所属（54才）

経営感覚を持ち、時代の流れを見据えた市政運営・市民サービスが必要です!!

維新の党

花田まこと（はなだ）

54歳

花田まことが目指すまちづくり

❀これからの超高齢化社会を見据え、手軽に高齢者の健康寿命を延ばすための施設の整備。
❀待機児童対策など子育て支援の充実に加え、保育園と幼稚園の補助格差の是正。
❀老朽化したインフラの計画的保全。地震・津波対策等都市防災機能の拡充。
❀各地域の諸問題を解決するための調査研究及び対策。
❀地方自治体として地球環境を守るためのCO_2削減等。

プロフィール

茅ヶ崎市議会議員一期目、南湖在住。
環境関連企業を共同経営。金沢大学研究員として環境浄化技術等を研究、環境に関する特許を多数取得。
現在、茅ヶ崎アマチュアボクシング協会 会長、茅ヶ崎地区ＢＢＳ会 監査（更生支援ボランティア団体）、茅ヶ崎オーシャンライオンズクラブ 会員

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版によって印刷したものです。